

「構造工学論文集」修正原稿作成における留意事項

土木学会・構造工学論文集編集小委員会

※構造工学論文集 Vol.69A より、投稿原稿に対する査読意見を反映する「**修正原稿**」と、修正原稿に基づき掲載可と判定された場合に作成する「**最終原稿**」を**2段階で提出いただく**ことになりました。

- 1) 修正原稿には査読意見を適切に反映させて下さい。修正確認の利便性を考慮してページ番号および行番号を付すとともに、修正箇所を赤字にしてください。原稿の見本は投稿原稿用と同じです。
- 2) 修正報告(新旧対照の報告。様式は任意ですが、査読意見と修正内容を対で示すとともに、新原稿における修正箇所を明示してください)も提出して頂きます。査読者の修正意見に対して適切な対応がされていない場合、掲載不可となることがありますのでご注意ください。
- 3) チェックシート(投稿原稿用とは異なります。構造工学論文集編集小委員会のホームページから入手ください。)もご提出下さい。チェックシートにおけるチェック内容と原稿の実際に不整合がある場合は返却することがあります。
- 4) 「構造工学論文集投稿要領」記載の執筆要領、体裁に関する規則を厳守して下さい。修正原稿に形式不備があった場合には、その時点で返却する権利を当編集小委員会は持ちます。
 - a) 修正原稿は、投稿要領、原稿見本、チェックシートに従って通常の A4 サイズで作成し、その PDF ファイルを投稿者用 Web より提出下さい。アクセス先の Web アドレスはメールにより送信されています。
 - b) 連絡著者のメールアドレスを原稿体裁に従って 1 ページ目左下に記入して下さい。(書き方は、所定の体裁、チェックシートでよくご確認下さい。連絡著者などの表記を個人名に置き換えないで下さい。)
 - c) 受理日欄は、投稿原稿と同じく(2023 年**月**日受理)としてください。
 - d) 英文タイトルおよび英文著者名の表記の仕方に誤りが大変多くなっています。原稿見本を参考にして、必ずフォーマットを守るようにして下さい。
 - e) PDF ファイルの作成は、土木学会論文集における PDF ファイルの作成方法(<http://committees.jsce.or.jp/jjsce/ptebiki>)に準じて下さい。査読対応のためにページ数とファイルサイズが増える場合には、14 ページおよび 10MB を超過することが認められます。カラーの図表を入れて頂くことも可能です。
 - f) フォントが全て埋め込まれているか、プリンタで印刷した際に文字化けや図表の画質に問題がないか等、ご確認下さい。
- 5) 投稿者用 Web の画面に従って提出して下さい。

※注記：論文題目、原稿区分の投稿時からの変更は、査読意見として指示されていない限り、原則として認められません。やむを得ず変更する場合は委員長宛に理由書を作成の上、構造工学論文集編集小委員会(メールアドレス: struct-eng@jsce.or.jp)までメールでご提出下さい。なお、著者名(著者の順番を含む)の投稿時からの変更は認められませんので、ご注意ください。

提出期限：2023 年 1 月 16 日(月) 17:00

締切後、掲載可否の判定に入りますので期限を厳守して下さい。提出期限に遅れた場合は、掲載否とすることがあります。

問い合わせ先：土木学会構造工学委員会構造工学論文集編集小委員会幹事長

・東京大学大学院工学系研究科教授 長山智則

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1 丁目 外濠公園内

E-mail: struct-eng@jsce.or.jp